

1. 科目名 (単位 数)	経営学 (非営利組織の経営含む) (2 単位)	3. 科目番号	SBMP1119
2. 授業担当教員	松尾 仁		
4. 授業形態	講義、グループワーク、グループディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	経営学関連科目を履修していることが望ましい。		
7. 講義概要	本講義では、企業の活動における基礎的な諸概念、経営学用語、原理などの初歩を体系的に学ぶことによって、経営学の基本を身につけることを目的としている。そのために、経営学の学問的な性質、企業・経営の概念、経営管理、企業経営の内容、現代の経営学の役割など、各理論の概要の初歩を説明する。講義が抽象的にならないように、なるべく具体例を用いながら講義を進め、理論と実例の両側面から説明を展開していく。また、グループワークやグループディスカッションを通じて、受講者の主体的な参加によって、理解向上をはかる。		
8. 学習目標	1. 企業経営に関する基礎的知識を習得し、説明できるようになる。 2. 経営各分野について基礎的知識を習得し、専門科目履修時の理解力を向上させる。 3. 現代企業や団体の経営課題を把握し、課題解決の取り組み方法を選択できるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	授業内容と関連したレポートを課す。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 齊藤毅憲編『経営学を楽しく学ぶ Ver. 4』中央経済社、2020 年。 【参考書】 高橋伸夫『大学 4 年間の経営学が 10 時間でざっと学べる』KADOKAWA、2016 年。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. レポートや論文の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 経営学的な思考が身についたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の 20% 2 期末試験 総合点の 50% 3 課題レポート 総合点の 30%		
12. 受講生への メッセージ	主体的に授業に参加し、経営学の基礎的な理論と現状を学び、企業経営のさまざまな問題について漠然とではなく論理的に考える力を身につけるよう心掛けていただきたい。		
13. オフィスアワー	授業内で通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション／経営の意義	事前学習	教科書の第 1 章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第 2 回	企業のイメージ	事前学習	教科書の第 2 章第 1～2 節を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第 3 回	企業の特徴	事前学習	教科書の第 2 章第 3～5 節を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第 4 回	行政、NPO との関係	事前学習	教科書の第 3 章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第 5 回	企業の情報	事前学習	教科書の第 4 章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第 6 回	経営者の役割	事前学習	教科書の第 5 章第 1～2 節を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第 7 回	経営理念	事前学習	教科書の第 5 章第 3～4 節を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第 8 回	企業の仕組み	事前学習	教科書の第 6 章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第 9 回	起業	事前学習	教科書の第 7 章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第 10 回	企業間関係	事前学習	教科書の第 8 章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第 11 回	経営戦略	事前学習	教科書の第 9 章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第 12 回	経営組織	事前学習	教科書の第 10 章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第 13 回	経営環境	事前学習	教科書の第 11 章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第 14 回	経営資源	事前学習	教科書の第 12 章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。

第15回	総括	事前学習	これまでの授業内容を整理しておく。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
期末試験			